

### 脳は変化する

管理課長 富 卓哉

新年、明けましておめでとうございます。本年も所員一同よろしくお祈りいたします。

年明け早々、大地震やそれに伴う凄惨な事故も発生しております。災害や事故により犠牲になられた方々や今なお避難生活を余儀なくされている皆様に対してお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、先日、久しぶりにタクシーに乗る機会がありました。

私が指定した目的地は距離が遠く、一軒家が多く並ぶいわゆる住宅街にある民家でしたが、運転手は道に迷うことなく目的地へ到着しました。スムーズに目的地に到着するのは当たり前のことかもしれませんが、私の親と同じぐらいの年齢だと思われる運転手の位置把握力や記憶力に感心したのを覚えております。



人間の脳は、一定の年齢を過ぎると柔軟性を失い、変化することができなくなると信じられてきましたが、タクシーの運転手のように、高齢になっても数多くの道や最短経路を記憶できるまで脳は変化することができるのです。しかし、変化することは諸刃の剣であり、新しい経験で脳を刺激しなければ、物事への対処方法や信念は固定化し、簡単には変化できなくなっていくます。そして、脳のある部分を使用しないでいると、他の機能に乗り取られてしまうものでもあります。

新しく何かを経験することで脳が変化するのであれば、何歳になっても脳は変わり続けることができます。このことを仕事において考えると、異動や配置換等により新しい業務に携わることで新しく何かを経験することになるでしょう。しかし、異動や配置換はそう頻繁にあることではなく、数年は同じような業務を続けることになるでしょう。そのような場合、脳の変化は期待できないのでしょうか。いや、仕事のやり方をこれまでと同じように前例踏襲で行うだけでなく、少しでもより効果的な方法へ、より効率的な方法へ新たに変わっていくことでも脳は刺激を受け、変化するのです。

定年退職年齢が65歳という時代がもう目の前まで来ていますが、身体も脳も元気な状態で業務を行うために、難しい課題から目を背けず、常に業務の中に変化を求めていこうと自分に言い聞かせているところです。

### 合同計画学校訪問ありがとうございました！ ～令和5年度合同計画学校訪問無事終了～

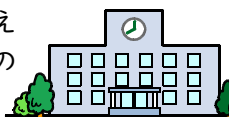
本年度予定していた全24校の「大隅教育事務所・各市町教育委員会合同計画学校訪問」が無事に終了しました。訪問校の校長先生をはじめ、教職員の皆様、本当にありがとうございました。訪問前の資料作成や当日の様々なお心配り、そして、終了後約一か月間の事後取組による成果報告等、大変御尽力いただきました。各校や校区の歴史と文化を直接見聞きし、その偉大さや地域の皆様の温かさを感じることも多かったです。

さらに、授業を参観させていただく中で、児童生徒と先生方との日々のコミュニケーションや指導・支援の積み上げの様子も改めて実感することができました。今後の研修によりよい形で生かしていきたいと思っております。

また、各市町教育長をはじめ教育委員会の皆様にも、事前の打合せや資料作成に関する御指導等、細やかに学校と連携を図っていただき、心から御礼申し上げます。これからも、地区内全市町教育委員会と大隅教育事務所とで協働的に学校のためにがんばってまいります。

大隅地区は、原則5年に一度の合同計画学校訪問を実施しております。各校の5年間の実践を教えていただけることをいつも楽しみにしております。

最後に、全ての学校の教育活動の成果のみならず課題等については、共に考え共に高め合っていきたいと考えております。この訪問をよい機会と捉え、情報の共有・連携強化を推進しましょう。来年度もどうぞよろしくお祈りいたします。



# 地区研究協力校研究公開

小学校高学年における教科担任制は、令和3年1月26日中央教育審議会答申の中で明言され、本県でも16校のモデル校を指定し、令和4年度から、その取組を始めました。小学校高学年から教科担任制を導入する趣旨としては、授業の質の向上、児童の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化、教師の負担軽減、複数教師による多面的な児童理解、小学校から中学校への円滑な接続等と示されています。本地区でも鹿屋市立大始良小学校と曾於市立財部小学校がモデル校として令和4年度から実践研究を進めてきました。小学校高学年教科担任制について、鹿屋市立大始良小学校が県内初めての研究公開を行いましたので、紹介します。

併せて、今年度10月までにへき地・小規模校3校で開催された研究公開についても紹介します。区内でも7割を超える小学校が小規模校であり、約半数の小学校に複式学級が設置されています。子供たちが自ら主体的に学習を進めていくためには、子供たちの実態を踏まえた様々な工夫が必要不可欠であり、その工夫がなされたとき、「学習者主体の学び」の実現につながります。

## 小学校高学年教科担任制, 学力向上

### 県研究協力校研究公開(教科担任制) 鹿屋市立大始良小学校

令和5年10月17日(火)に、鹿屋市立大始良小学校にて、県教育委員会指定モデル校及び大隅地区研究協力校「小学校高学年教科担任制実践研究」の研究公開が行われました。大始良小学校は、令和4年度から県のモデル校として2年間研究を進め、県内で初めて研究公開を開催しました。研究主題は「小学校高学年を中心とした授業の質の向上と児童理解の充実をめざして～教科担任制における多様な指導体制から～」です。授業は、交換授業と専科授業の2型で行われ、国語と算数の授業が公開されました。

県内各地から多数の参加者が集い、先進的な研究を基にした教科担任制の具体的な実践について学び合うことができました。

<研究公開報告>



### 地区研究協力校研究公開(指導法改善) 志布志市立野神小学校

令和5年10月27日(金)に、志布志市立野神小学校にて研究公開が行われました。研究主題は「自分の思いや考えを伝え合い、深めることのできる児童の育成～国語科『読むこと』の言語活動を通して～」です。当日は、子供たちが意欲をもち主体的に学習に取り組むための言語活動の設定、自分の考えを伝え合う交流活動の工夫等について、研究発表や授業公開が行われました。

音読を工夫するために、「くじらくも」に乗った場面の様子を想像して、楽しそうに伝え合う1年生の姿や、各自が作成したパンフレットについて、観点に基づきしっかりとアドバイスし合う6年生の姿が見られ、研究の成果として話題になりました。

<研究公開報告>



## 複式教育, へき地・小規模校教育

### 地区研究協力校研究公開(複式教育) 垂水市立協和小学校

令和5年10月19日(木)に、垂水市立協和小学校にて研究公開が行われました。研究主題は、「複式・少人数学級における主体的・対話的で深い学びの追求～国語科における『書くこと』の指導を通して～」です。当日は、意見交換を充実させるための前時の工夫や三角ロジックを意識した言語活動の充実、自力解決から協働的な学びへとつながるための手立てなどが研究内容として示されました。

どの学年でもICTを使って意見交換をし、ガイド役の児童を中心に、試行錯誤をしながら意見をまとめる姿が印象的でした。参観された先生方も、自分たちで学びを進めていく児童の姿に驚かれていました。

<研究公開報告>



### 地区研究協力校研究公開(へき地・小規模) 曾於市立財部南小学校

令和5年10月25日(水)に、曾於市立財部南小学校にて研究公開が行われました。研究主題は「子供が主体的に学習する複式学習指導の工夫～学び合う算数科学習を通して～」です。当日は、学び合いを位置付けた学習の流れ、見通しをもって学習を進めるための板書やワークシートの工夫、話し合いを支える三角ロジック、話し合いを深めるリボイシングとリフレクティブトスなどが研究内容として示されました。

どの学年でもガイドが先頭に立って話し合いを進める方法ではなく、一人一人が自分の主張を根拠とともに説明して学び合う主体的な姿が見られました。この相互に発言して学びを進める子供の姿が研究協議の中心となりました。

<研究公開報告>



# おすすめ学力向上プロジェクト

## おすすめ学力向上プログラムとは…

令和5年度の「おすすめ学力向上プロジェクト会議」では、年4回の取組の中で「学習者主体の授業づくり」について考えてきました。

1回目は、「観」の交流として、先生方に「授業で大切にしていること」を交流しました。

### ～「授業観」の交流を通して～

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが「分かった!」「できた!」と声かどぶこと。</li> <li>・子ども1人ひとりが活躍できる授業</li> <li>・子どもが思わず前のめりとして興味を引く授業。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何のために学ぶのか」を意識させる単元の導入</li> <li>・毎時間の(振り返り)</li> <li>・「どのように生かせるか」を考える 単元の終末</li> </ul>
<p>まず自分自身の授業観や学力観とあらかじめ問合わせにより、自分がどんな授業としたいのかを再認識することができた。</p>	<p>「学力観」「授業観」の交流で様々な校種や教科の先生方の話が聞けて、「私も大切にしたい」と思うことがあった。単元を通して身につけたい力を意識しながら授業をしていた。</p>

2回目以降は、交流で表出した考えを大切にしながら「学習者主体の授業づくり」に各教科で取り組みました。オープンサポート教科フォーラムの中間発表では、参加者の先生方から授業をよりよくするための貴重な御意見をいただきました。そして、再度授業プラン等を見直して検証授業を行い、モデル授業の完成につなげました。以下に各教科のモデル授業について概要を紹介します。



## 国語

○【小学校】…大崎町立大崎小学校(第6学年)

本時は、「目的や条件に応じて、計画的に話し合おう(みんなで楽しく過ごすために)」において、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために大事なことを考える授業でした。



「学習者主体」の授業実現のために、グッドモデルとバッドモデルの比較を通して、主張・理由・根拠のつながりや、目的・条件に合った意見をまとめる意義について考えました。また、話し合ったことを1年生との交流活動に生かすという相手意識・目的意識も重視しました。

○【中学校】…肝付町立内之浦中学校(第1学年)

本時は、「説得力をもたせる構成や展開について考えよう(「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ)」において、前時までに読み取ったことを生かして、自分の文章を説得力のあるものにブラッシュアップする授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、自分の理科研究記録を再考し、書き換えた文章を論理的に説明するように工夫しました。振り返りも複数の視点で行い、次時からのレポートを書く学習にも見通しをもって取り組むことができるようになることを期待して実践しました。



## 社会

○【小学校】…鹿屋市立田崎小学校(第6学年)

本時は、「新しい文化と学問」において、江戸時代の新しい学問がどのように発展したかを知り、今後の日本の様子を予想する授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、「蘭学」、「国学」等について、まずは各自が調べたことを共有ノートに入力した後、グループで吟味・整理していく活動を行いました。

また、今後の日本の変化について、三角ロジックを活用して考えをまとめており、本時で学んだことを根拠とした多様な考えが出されました。



○【中学校】…鹿屋市立吾平中学校(第1学年)

本時は、「北アメリカ州」において、アメリカ合衆国の「工業」について、工業の移り変わりを理解し、その要因や先端技術産業が盛んな理由について考察する授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、先端技術産業が発達した理由について、「気候」、「資源」、「豊富な労働力」、「優柔な人材」の視点から各自で資料を選択して調べ、Xチャートにまとめました。また、グループで互いの考えを参考にし、盛んな理由を明確にしていく工夫も取り入れました。



## 算数・数学

### ○【小学校】…錦江町立神川小学校（第2学年）

本時は、「かけ算(1)」において、「1つ分の数」×「いくつ分」というかけ算の意味を捉える授業でした。単元の導入にあたる本時の授業では、1台に3人ずつ乗っている観覧車9台分の人数を言葉や式で表すために、「1つ分の数」に着目しながら粘り強く考える姿が見られました。

「学習者主体」の授業実現のために、児童の発表の続きを他の児童に説明させる働き掛け等をしながら全員が自分事として考える工夫をしました。また、終末には、学んだことを生かす発展的な問題を提示する工夫をしました。



### ○【中学校】…錦江町立田代中学校（第2学年）

本時は「図形の性質の調べ方」で、星形五角形の性質について、平行線や多角形の角の性質を利用することで、新たな図形の性質を様々な過程で見ださせる授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、「星形五角形の5つの角の和が180度になる理由」を考えるレベル別シンキングカードが複数用意してあり、各自が選択して意欲的に解決に取り組みました。その後の話し合いでも自由に意見交換を行い、友達の説明に納得し共感する姿が多く見られました。

## 理科

### ○【小学校】…鹿屋市立寿小学校（第4学年）

本時は、「物のあたたまり方」において、水の温まり方を調べる授業でした。授業では、金属、水の温まり方を調べた事実や生活経験を根拠にした自分の予想が合っているかを主体的に調べる姿が見られました。

「学習者主体」の授業実現のために、2点の工夫をしました。まず、三角ロジックを活用し、一人一人が根拠のある予想を設定できるようにしています。次に、温められた水の動きを捉えやすくするために、水に洗濯用洗剤を入れて温める教材の工夫を行っています。



### ○【中学校】…鹿屋市立大始良中学校（第3学年）

本時は、「仕事の原理と仕事率」において、定滑車と動滑車を使った場合の仕事の大きさを比較しながら調べる授業でした。授業では、自分の仮説を主体的に検証し、考察する姿が見られました。

「学習者主体」の授業実現のために、導入で体験の場を設定する工夫をしました。具体的には、滑車を使用した経験がほぼ無い生徒が、根拠のある仮説を設定できるようにするために、定滑車と動滑車におもりを付けたときの仕事について手応えで確かめる場を位置付ける工夫をしています。

## 外国語活動・外国語

### ○【小学校】…南大隅町立佐多小学校（第6学年）

本時は、Unit6「Let's think about our food」において、鹿児島県の食材を使い、ALTが食べたいと思うオリジナルカレーのメモを完成させる授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、児童が「やってみたい」と思う目標を、実態に合わせて具体的に設定して、興味・関心をひいたり、教師のモデルで工夫しているポイントを考えさせ、何ができるようになるかをイメージし、見通しをもって学習させる工夫をしました。また、児童が食材を選ぶ方法を複数示し、個別最適な学びを意識しました。



### ○【中学校】…大崎町立大崎中学校（第1学年）

本時は、PROGRAM7「Research on Australia」において、自分が選んだ国をALTが旅行先として選ぶようプレゼンするにはどうすればいいかを考える授業でした。

「学習者主体」の授業実現のために、ALTが興味があることを確認し、モデル文から工夫を見付け、プレゼンの工夫をしました。また、ペアでリハーサルを行い、相互評価をすることで、改善点を認識し、自分の発表に生かす工夫をしていました。また、帯学習のSmall Talkの会話を言語活動に生かすなど、学習の積み重ねを意識した取組もなされていました。



各教科のプロジェクト推進委員が作成した成果物【指導計画、授業プラン、見届け問題】は、今後は、かごしま学力向上支援Webシステムの「教材集」に掲載します。（2月掲載予定）是非、「学習者主体の授業づくり」の参考にしてください。

## 大隅地区で夢を叶えよう

現在、地区内には小学校、中学校、義務教育学校合わせて117校の学校が設置されており、18,000人余りの児童生徒が学んでいます。地区内4市5町では、それぞれの地域の特色を生かした「一隅を照らす 山と野と渚の教育」が推進されています。右下の一番上のQRコードから各市町の様子や学校の場所がご覧いただけます。魅力あふれる大隅の様子をご覧ください。

このように魅力あふれる大隅地区ですが、共に教壇に立って子供たちの未来を形作っていく仲間を募集しています。「教員免許はあるけれど先生の経験がなく心配だな」、「かつて教職に就いていたけれど、ブランクが長すぎて不安だな」と思われる方々、これから社会に飛び出す学生の皆さん、学校という現場であなたの夢を叶えてみませんか。

県教育委員会ホームページでも自信をもって教壇に立てよう応援プログラムを掲載しています。是非、ご覧ください。

年齢・経験不問

# 大隅 地区

# 小・中学校の 先生 募集

大隅の子供たちが輝くために

# あなたの力を

# おかせください!

### 【応募資格】

有効な教育職員免許状を有する者

### 【勤務地】

大隅地区 ※勤務地はご相談ください

### 【給料・手当】

191,692円～273,692円(講師の場合)

この他に、社会保険制度及び扶養手当、  
住居手当、通勤手当、期末勤勉手当あり  
(ボーナス)

年齢・経験不問です。

### 【連絡先】

大隅教育事務所 管理課

〒893-0011

鹿屋市打馬二丁目16番6号

☎0994-52-2203

【大隅の教育】



【PRビデオ等】



【かごしまの先生  
スタートプログラム】



まずは気軽にご連絡ください